

福島正美ニュースレター

発行：立川市議会議員 福島正美
TEL/FAX 042-522-9971



実りの秋を迎えて

いつも大変にお世話になっております。

早いもので昨年の初当選以来1年以上の月日が経ちました。皆様のお陰で思う存分市政の場で働かせて頂いております。市民相談も250件を超え、地域の実績も作らせて頂きました。

爽やかな季節を迎え、これからも尚一層の情熱を傾け、精進して参ります。身近な問題やお困り事、ご意見等何なりとお申し付け下さい。

皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



6月定例議会報告

6月度定例議会が開催され4度目の一般質問を行ないました。皆様の多くのお声の中から

1. 立川市の住宅政策について
2. 商店街振興策について
3. 花のまちづくりについて

以上3点について質問をしました。

これまで特に若い子育てファミリー世帯の方々が公営住宅に入れない等、住宅の確保に悩む声を聞いてきました。現在公営住宅を増やすことが困難な中、公社や都市再生機構（UR＝旧公団）の賃貸住宅を若い子育てファミリー向けの住宅として活用するよう提案をしました。

全国一の規模を誇るエキナカが10月に開業します。駅周辺の商店街がエキナカの完成をチャンスと捉え、大型商業施設との共存共栄が図れるよう、商店街を紹介する案内板の設置をし、立川への来街者が魅力ある商店街を訪れる環境整備を行なっていくよう強く要望しました。

2013年に「花博」開催の誘致が進む中、市民レベルでの意識向上の為、まち全体に花を飾る「花のまちづくり」運動を広く市民に呼びかけるよう訴えました。



福島正美 6月市議会定例会での一般質問

1. 立川市の住宅政策について

- 住宅の確保に悩む若い子育てファミリー世帯に対して、市場の民間・公的住宅ストックである公社や都市再生機構（UR）の住宅の一部を市が借り上げ、公営住宅として供給すべきである
- 民間事業者に対する建設費の助成と入居者の家賃負担を軽減する「地域優良賃貸住宅制度」を活用した支援はできないか

2. 商店街振興策について

- エキナカの完成と合わせて設置される観光案内所に、特徴ある個店をはじめとした商店街の案内板を設置できないか
- 現庁舎敷地も含めた南口のまちづくりについて策定される、中心市街地活性化基本計画の基礎調査の内容はどのようなものか

3. 花のまちづくりについて

- 「花博」誘致が進む中、もっと市民レベルでの意識向上を図るため、地域や家庭で花を植える「花のまちづくり」運動を展開してはどうか

一般質問の要旨は以下の通りです

立川市の住宅政策について

【質問①】住宅の確保に悩む若い子育てファミリー世帯が増えている。公営住宅を増やすことが難しい状況の中、市場の民間・公的住宅ストックである公社や都市再生機構（UR）の賃貸住宅を若い子育て世帯の居住支援に活用していくべきである。公社やURのストックの一部を市が借り上げ、市営住宅として供給する政策が可能だと思うがどうか。

【質問②】民間事業者に対する建設費の助成と入居者の家賃負担を軽減する地域優良賃貸住宅制度を活用した支援はできないか。

【答弁（都市整備部長）】

5月末における市内の公営住宅等の空き家の状況は、一例ではあるが、都民ハイム（泉町）は約4.3%、また幸町団地等URの4団地が約2.9%という割合です。これらのストックを市が借り上げることは困難ですが、子育て世帯等の円滑な入居については今後検討すべき課題と認識をしています。「地域優良賃貸住宅制度」については現在まだ国からの方針が示されていないので動向を十分注視していきたい。

商店街振興策について

【質問①】エキュートの完成と合わせてできる観光案内所に、駅ビルと周辺商店街の共存共栄を図る為、特徴ある個店を紹介する商店街の案内板を設置できないか。

【質問②】現庁舎敷地も含めた南口のまちづくりについて、今年度、中心市街地活性化基本計

画策定の為の基礎調査を行う予定であるが、実際にどのような調査をするのか。商店街が描いているコンセプトやテーマが見出せるような聞き取り調査を行って頂きたい。

【答弁①（産業文化部長）】

観光案内所については、現在JRと観光協会が中心となって、市も場面毎に加わって検討を進めている。またこの場所をまちの情報発信の拠点として活用するため、観光ボランティアである「まちのコンシェルジェ（案内人）」の養成を行なっていきたいと考えている。

【答弁②（産業文化部長）】

立川駅周辺の中心市街地地域の詳細なデータを集めるとともに、政策アドバイザーの専門的知見も入れての課題の分析や、事業者を含めた様々な意見を聞くための活性化協議会の設立を考えていきたい。

花のまちづくりについて

【質問①】「花博」誘致の準備が進められているが、もっと市民レベルでの意識を高めるために、地域に根付いた実践で、家庭において庭や壁、塀、道路等に花を飾るといった運動を啓発していくべきではないか

【答弁（産業文化部長）】

身近なガーデニングや庭の紹介マップなどを通じてまちづくりを進めることも大変有意義な施策ではあるが、実際に花を育てるには大変お金も人手もかかる。そういうものが都市として受け持てるだけの包容力が今問われていると思う。花も1つの文化なので、まちの中にしっかりと位置付けて、尚且つそれを育てることができるまちにしなければならない。そのような方面から花のあるまちづくりに様々な支援をしていきたい。

皆様の声の実現!!

羽衣町2丁目みさき湾様前 道路舗装が完了



羽衣町2丁目46番地（西友西国立店近く）の食事処「みさき湾」様前の道路が舗装されました。店の玄関前にでこぼこがあり、雨水が溜まったりして大変歩きにくい状態でした。当初の工事予定の範囲を越え、約25mに渡り綺麗に舗装ができました。歩行者の方々も安心して歩ける道になりました。

お知らせ

ブックスタート事業 いよいよ今月よりスタート



長年の公明党の提言と、私の昨年の議会での主張により導入が決定したブックスタート事業が、いよいよ8月からスタートします。毎月行なわれる、高松町の健康会館でのお子様の4か月乳幼児健診時に絵本を2冊贈呈します。絵本を通じて、お母さんの言葉の声かけによる親子の絆を深めてもらう為の子育て支援サービスです。ぜひご利用下さい。

＝厚生産業委員会で下記の件につき質問並びに要望を致しました＝

- ①立川市観光振興プランについて ・観光地と商店街が連携したイベントを行なうべきである
- ②商店街実態調査について ・調査結果を今後どのように商店街に対し生かしていくのか
- ③放課後子ども教室について ・一部の人達に負担が集中する。地域や親の参加をもっと呼びかけるべき。

トピックス

現庁舎敷地周辺官庁街 一体のまちづくりについて

平成22年度中に新庁舎が建設されるのに伴い、現庁舎が移転します。本年3月に最終提案書「現庁舎敷地利用を中心とした南口の活性化に向けて」が市長に上申されました。

去る6月には立川区合同庁舎（法務局・税関）の移転も決定しました。これからこの国有地（財務省所有）を市民のためにどう利用していくのか国との協議が始まります。三多摩の業務核都市としての賑わいを創出する、西国立駅までを視野に入れた官庁街一体のまちづくりが進むよう全力を尽くして参ります。皆様のご意見・ご要望ございましたらぜひお寄せ下さい。



不審者メールの登録急増中!!

我々公明党の主張により本年5月に導入された不審者情報を携帯電話に配信する「立川見守りメール」の利用者が着実に増え、7月現在で5,100人を超えました。

迅速な情報提供により多くの市民に喜ばれておりますが、情報の正確性や、情報配信後の対応の問題等様々なご要望やご意見をいただいております。子どもの安全を第一に考えた最善策をこれからも検討して参ります。



このニュースレターは日常における地域の皆様との情報交換を目的としてお届けしております。私自身の議会報告と共にお互いのコミュニケーションを深める為に、どんなことでも結構ですのでお困り事、ご要望、ご意見何でもお寄せください。お待ちしております。



皆様のご意見・ご要望スペース

FAX/TEL:042-522-9971

Email:mamfunks@rhythm.ocn.ne.jp

市民相談いつでも お気軽にご相談下さい



福島正美まで

電話:042-522-9971

携帯:090-6545-2425

E-Mail:mamfunks@rhythm.ocn.ne.jp

URL:http://www17.ocn.ne.jp/~mf2933